

2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社ナガワ

東証一部：9663

2018年7月23日

目次

平成30年度 第1四半期	(平成30年4月1日～平成30年6月30日)	業績の概況
TOPIX		2
連結 決算概要		3
セグメント別：連結売上高／営業利益		5
セグメント別：概況		8
連結 設備投資／減価償却費		11

参考資料

連結 貸借対照表	22
----------	----

平成30年度 第1四半期

(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

業績の概況

建設市場全般

当第一四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の保護主義的な政策の影響等により世界経済の不確実性が増している中、国内では引き続き企業収益や雇用等の改善傾向により、緩やかな景気回復基調が続きました。先行きについては引き続き回復基調が続くことが期待されるものの、世界経済の動向や東アジアの政治情勢には留意していく必要があります。

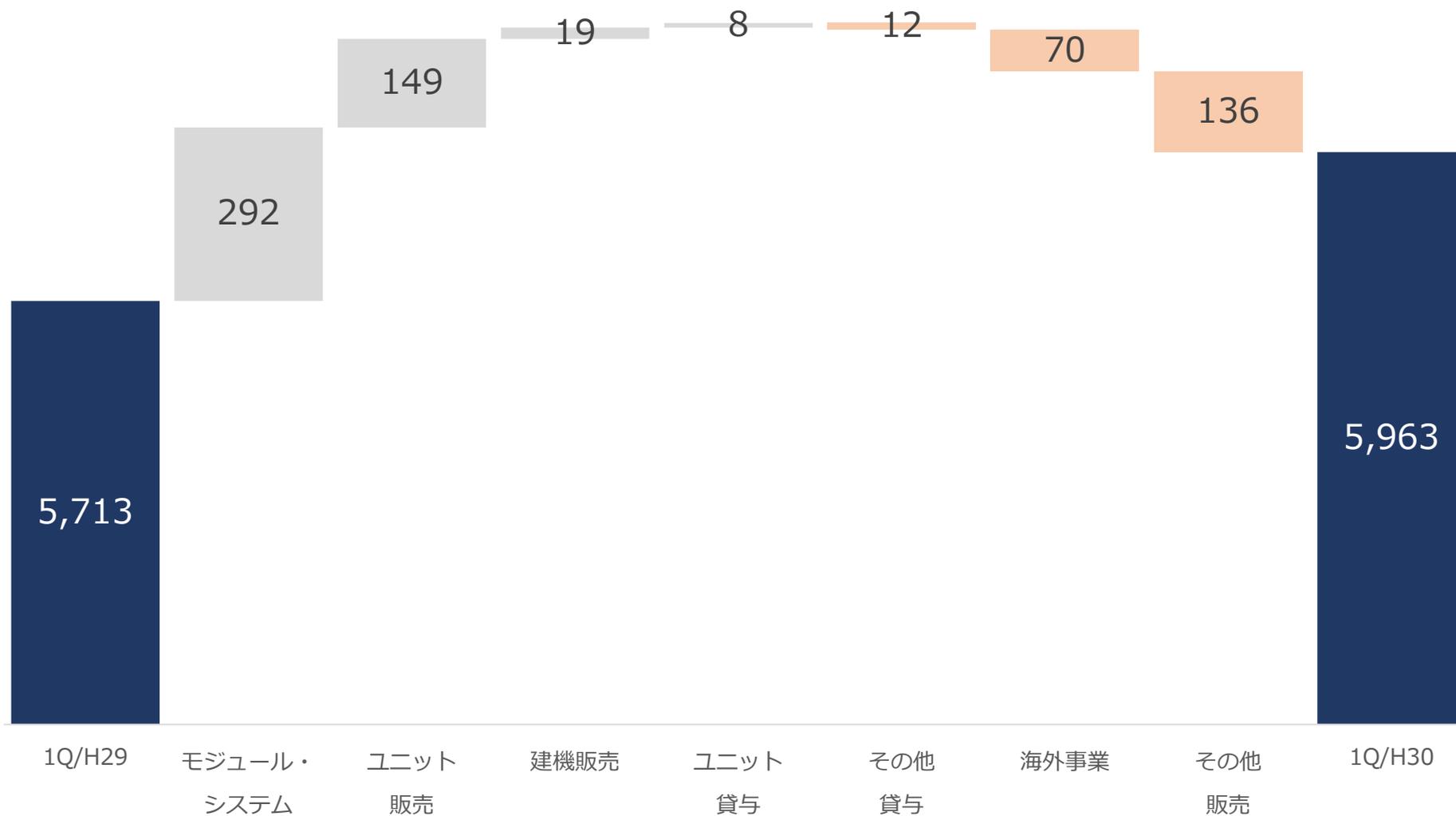
当社グループを取り巻く環境におきましては、民間設備投資が比較的好調に推移し、公共事業を含めた建設工事予定額はおおむね横ばいとなり、堅調な推移となりました。

主な取組み

- 1.モジュール・システム建築における全国上位地場ゼネコンとの請負体制の協業展開強化
- 2.海外事業における既存進出国の単年度黒字化と、欧米・東南アジア地域への次期出店国模索
- 3.教育制度改革での有資格者創出による、組織の精鋭化
- 4.物流体制の強化と、電子化による効率化推進
- 5.全国スマイルステーション（展示場）のサテライト出店加速

	1Q/H28	1Q/H29	1Q/H30	前期比	増減率	予算計画	計画比
売上高	5,413	5,713	5,963	250	4.38	6,749	▲ 786
営業利益	418	732	673	▲ 59	▲ 8.10	1,016	▲ 343
経常利益	477	780	717	▲ 63	▲ 8.10	1,075	▲ 358
親会社株主に帰属する四半期純利益	291	501	434	▲ 67	▲ 13.37	650	▲ 216
総資産	36,944	39,111	43,003	3,892	9.95	—	—
純資産	33,178	35,294	39,243	3,949	11.19	—	—
自己資本比率 (%)	89.8	90.2	91.3	1.0	1.13	—	—
1株当たり純資産	2,406.76	2,578.45	2,788.94	210.49	8.16	—	—

(単位：百万円)



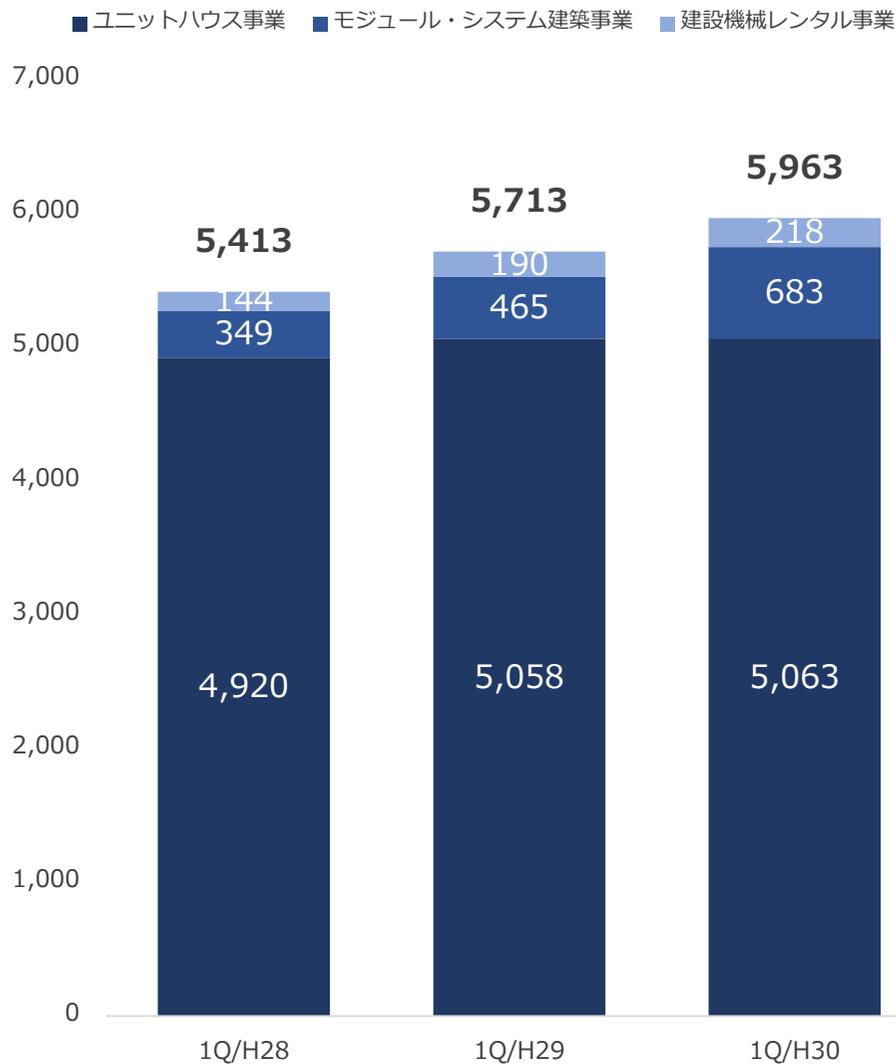
売上高	1Q/H28	1Q/H29	1Q/H30	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	4,920	5,058	5,063	5	0.10	5,135	▲ 72
モジュール・システム建築事業	349	465	683	218	46.80	390	293
建設機械レンタル事業	144	190	218	28	14.62	255	▲ 37
合計	5,413	5,713	5,963	250	4.38	6,749	▲ 786

(単位：百万円)

営業利益	1Q/H28	1Q/H29	1Q/H30	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	585	840	712	▲ 128	▲ 15.21	710	3
モジュール・システム建築事業	▲ 37	10	50	40	401.23	▲ 43	93
建設機械レンタル事業	▲ 42	▲ 7	▲ 3	4	▲ 61.37	▲ 6	4
全社又は消去	▲ 88	▲ 111	▲ 87	24	▲ 21.65	0	▲ 87
合計	418	732	673	▲ 59	▲ 8.10	1,016	▲ 343

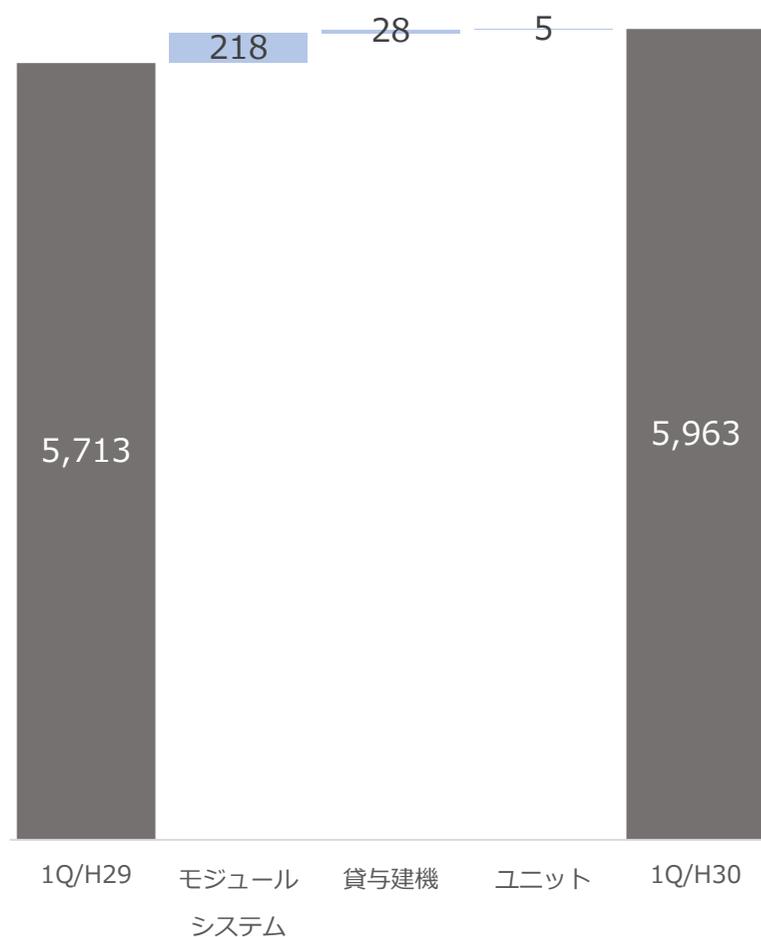
(単位：百万円)

セグメント別売上高推移

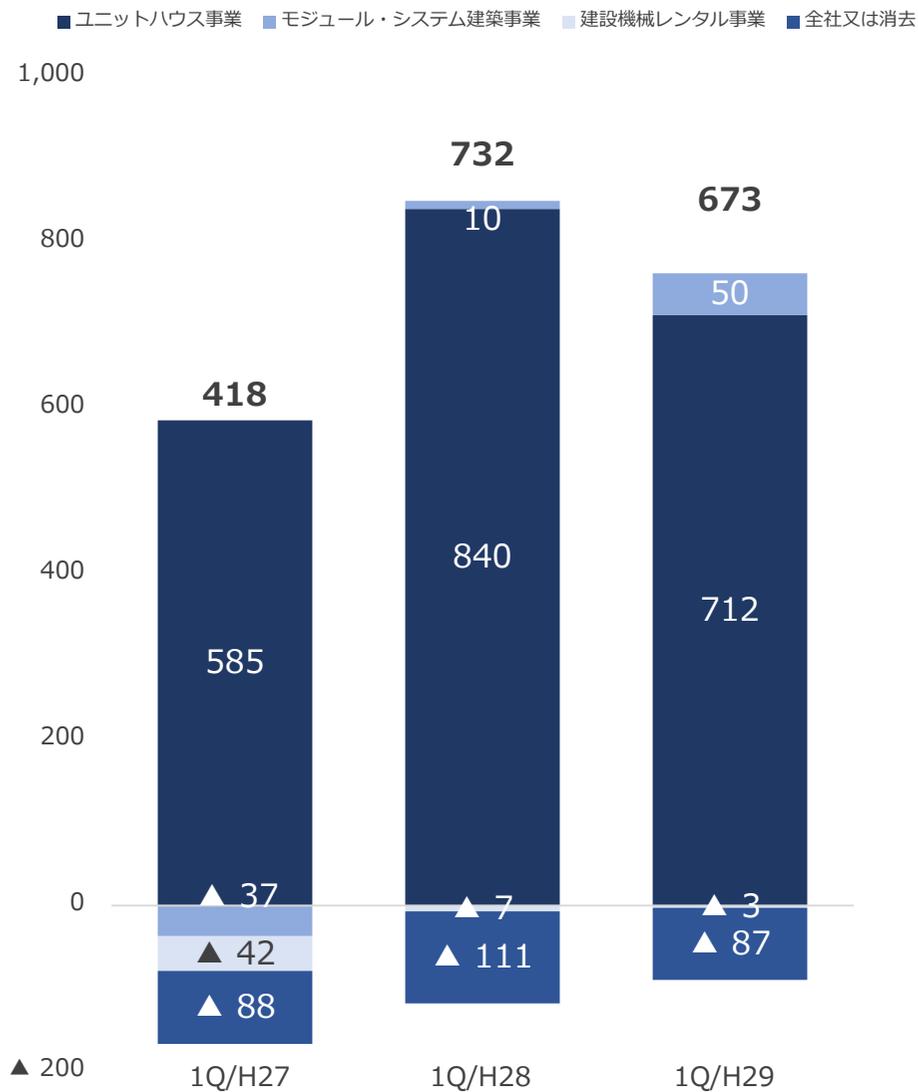


セグメント別売上高増減

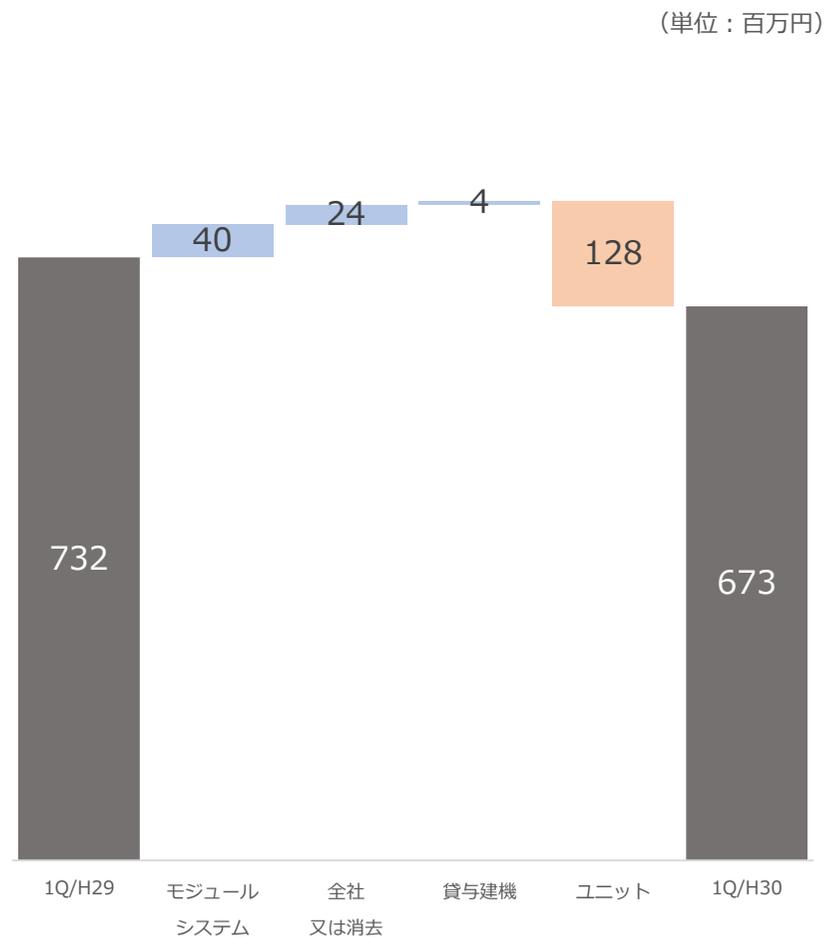
(単位：百万円)



セグメント別営業利益推移



セグメント別営業利益増減



ユニットハウス事業

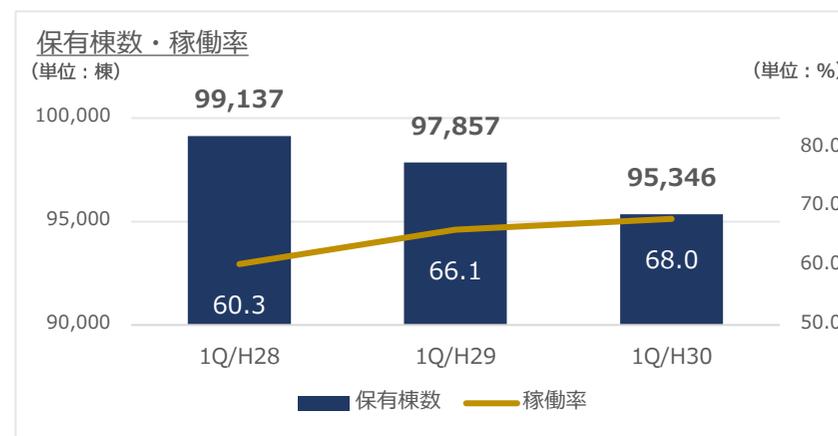
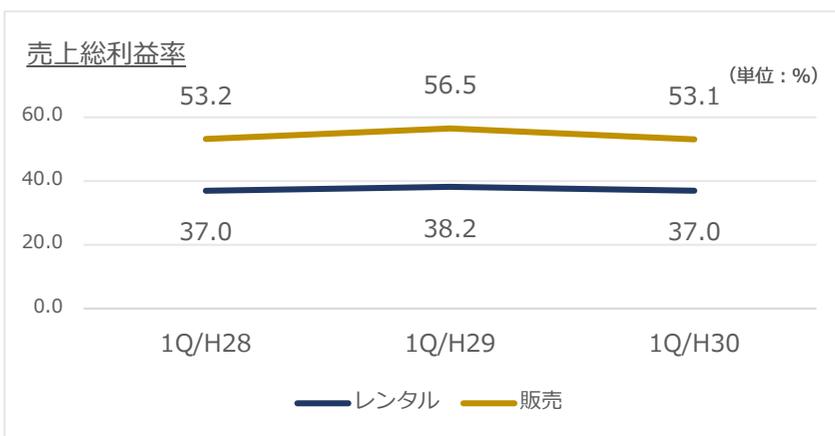
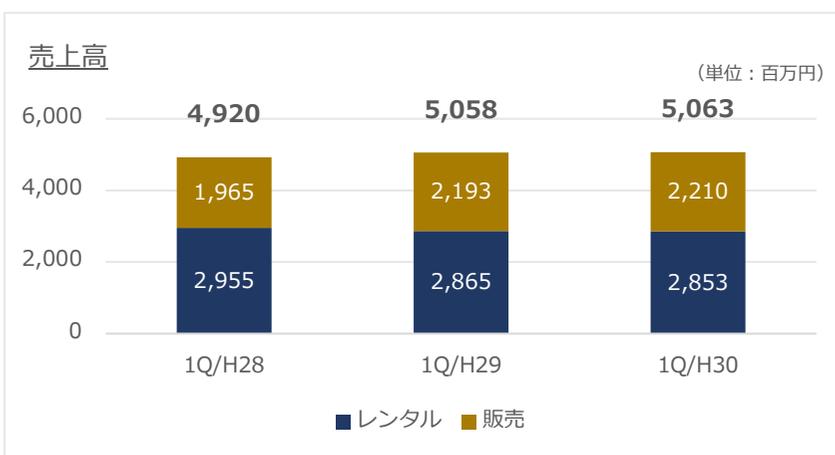
(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
5,063	5	▲ 72	712	▲ 128	3

売上高は前期並みに終わったものの、前期売却した備品事業2億円弱を勘案すると、2ポイント程度の増収。

営業利益については前述の特需剥落により減益となったが、実質では増益を確保している。

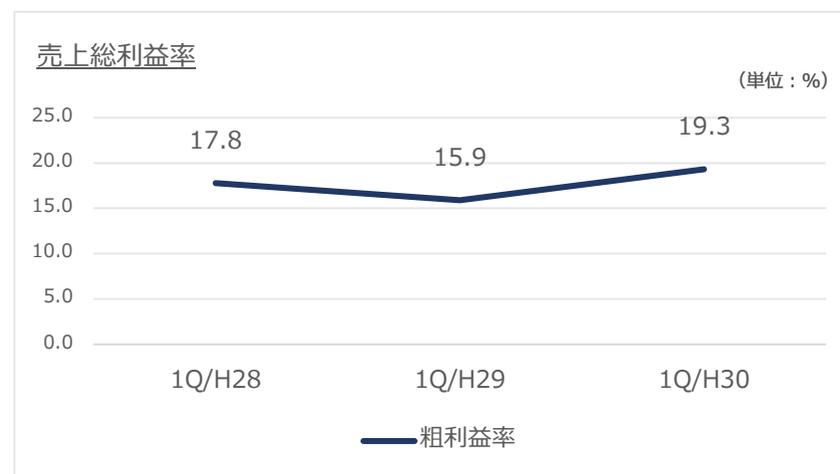
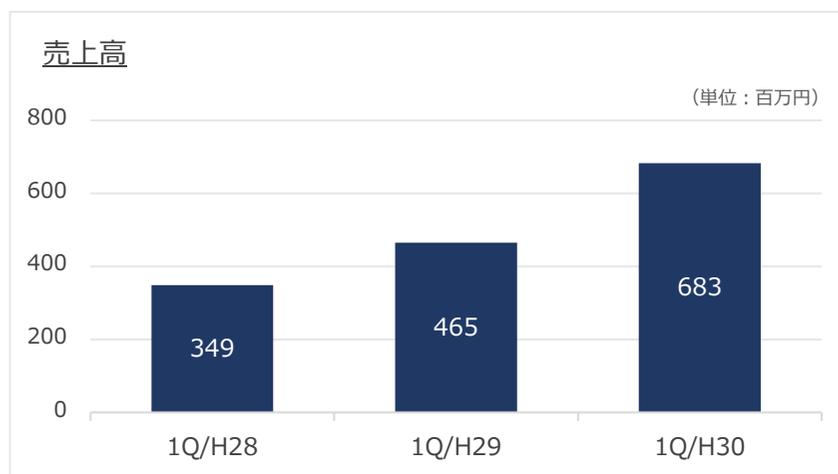
販売棟数は増加傾向にあり、キャンペーンの実施が全国的に効果としてあらわれている。



モジュール・システム建築

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
683	218	293	50	40	93

民間向けの大型工事の好調な推移と官公庁における児童施設などの堅調な受注を背景に、原価率改善と販売管理費の圧縮を行ったことで増益となった。また、当年度より教育制度を見直し技術系の資格取得推進を実施しており、将来に向けた技術者の育成に注力している。

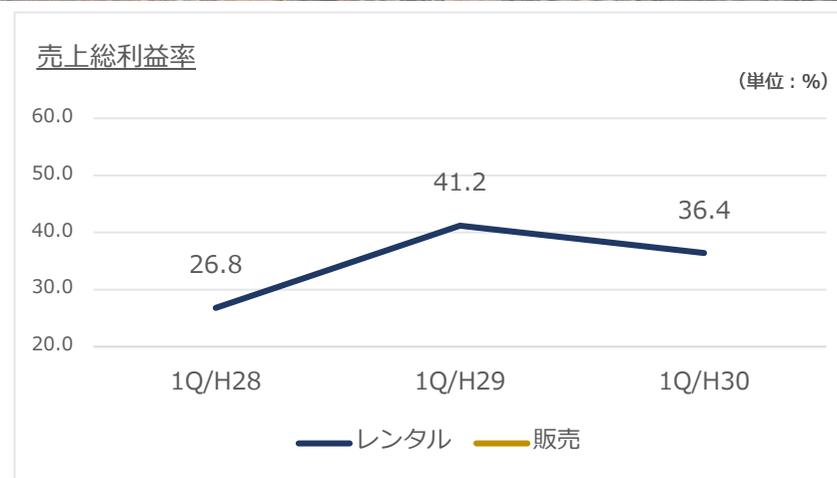
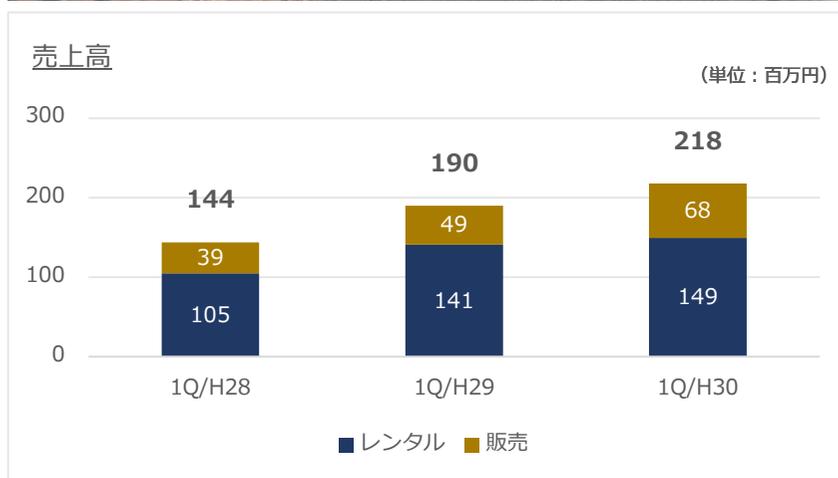


建設機械レンタル事業

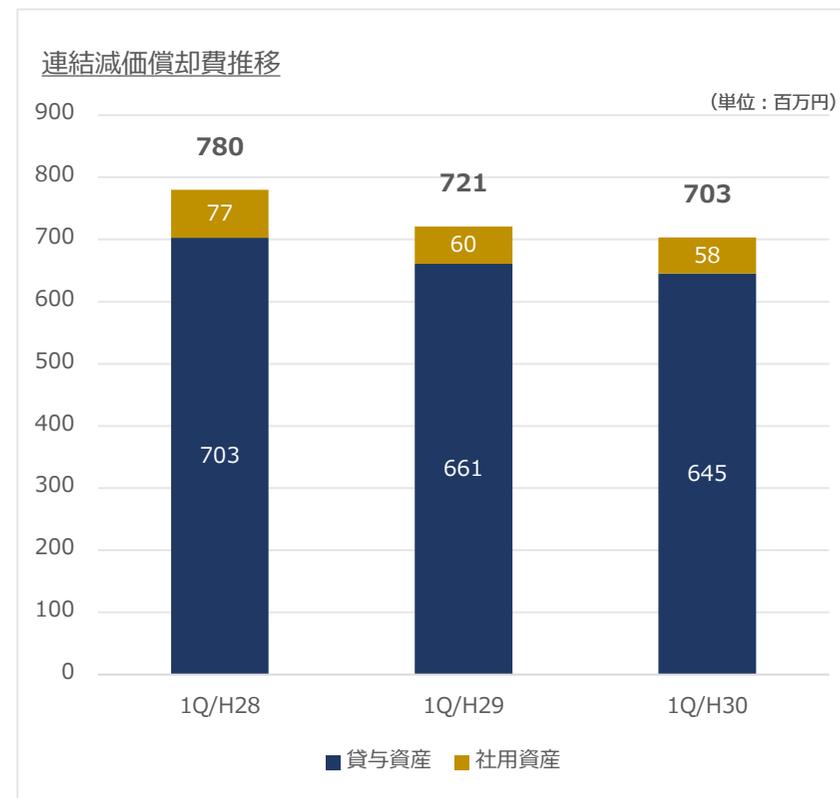
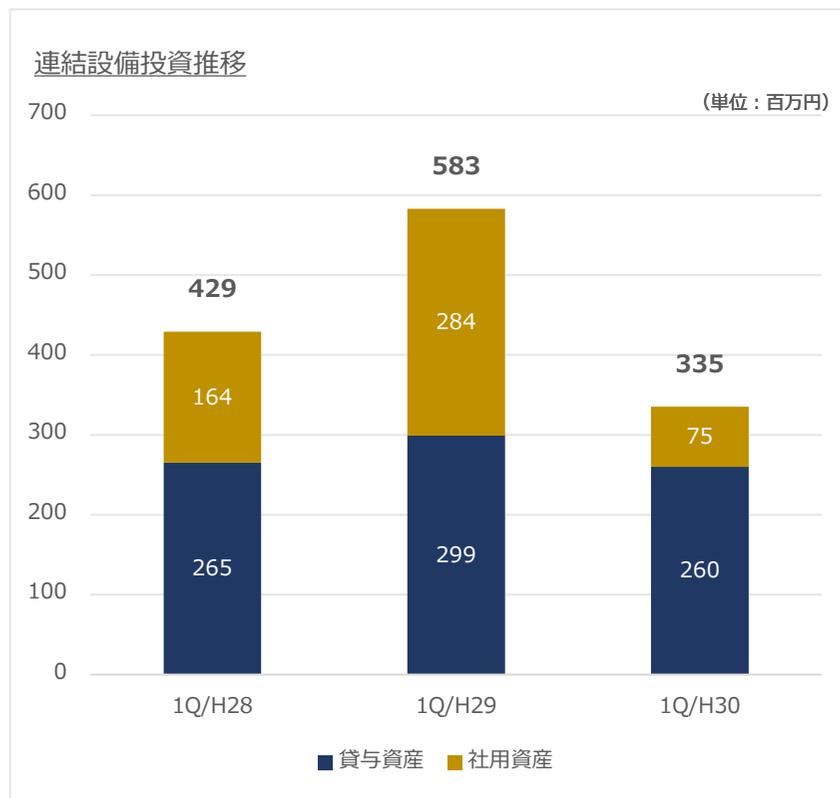
(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
218	28	▲ 37	▲ 3	4	4

営業エリアである北海道南部建設市場の公共工事発注金額に減少傾向が見られる中、当第一四半期連結累計期間においては災害復旧予算ならびに農業土木予算の発注が堅調に推移した。レンタルが好調なこととハウス類の販売が増加した効果により、減益ではあるものの前期に比較して損失額が半減。当年度は稼働期までに貸与機械の設備投資を終えることで、稼働期における受注機会損失の防止を徹底する。



設備投資／減価償却費



参 考 资 料

連結 貸借対照表

	H28年度	H29年度	H30年度 1Q/H30
現金及び預金	11,382	13,651	13,758
受取手形及び売掛金	7,398	8,206	7,044
商品及び製品	1,517	1,332	1,615
その他	542	570	586
流動資産合計	20,839	23,759	23,003
貸与資産	9,124	8,326	7,938
建物及び構築物	1,695	1,727	1,733
土地	6,610	6,564	6,544
その他	242	193	197
有形固定資産合計	17,671	16,810	16,413
無形固定資産	101	82	84
投資その他の資産	959	3,295	3,503
固定資産合計	18,732	20,187	20,000
資産合計	39,571	43,946	43,003

	H28年度	H29年度	H30年度 1Q/H30
買掛金	1,631	1,980	1,633
その他	2,375	2,347	2,003
流動負債合計	4,006	4,327	3,635
固定負債	240	132	124
負債合計	4,247	4,459	3,760
資本金	2,855	2,855	2,855
利益剰余金	31,223	33,596	33,327
その他	1,201	2,992	2,991
株主資本合計	35,279	39,443	39,174
その他の包括利益累計額	44	17	47
純資産合計	35,324	39,487	39,243
負債純資産合計	39,571	43,946	43,003



NAGAWA

Social Creation Company

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。